

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●宝塚記念はリスグラシューが優勝

6月23日(日)に行われた宝塚記念(G I)ではリスグラシュー(牝5歳/栗東・矢作芳人厩舎)が勝利、昨秋のエリザベス女王杯に続く2つ目のG Iタイトルを手に入れました。牝馬による宝塚記念制覇は2016年のマリアライト以来3年ぶり、史上4頭目のこととなります。

●福永祐一騎手がJRA通算2200勝を達成

6月22日(土)の3回阪神7日・第5レースではラウドシオンが1着となり、同馬に騎乗した福永祐一騎手(栗東・フリー)は、史上6人目、現役では5人目となるJRA通算2200勝(1万7041戦目)を達成しました。

●3人の調教師が節目の勝利を達成

6月22日(土)の3回阪神7日・第8レースではアオイテソローが1着となり、同馬を管理する加藤士津八調教師(美浦)はJRA初勝利をあげました。本年3月2日(土)の初出走から数えて、延べ49頭目での初勝利となります。翌23日(日)の1回函館4日・第4レースではブラックモリオンが1着となり、同馬を管理する池添学調教師(栗東)は、現役145人目となるJRA通算100勝(延べ1069頭目)を達成しました。また第7レースではスリーランディアが1着となり、同馬を管理する橋田満調教師(栗東)は、史上51人目、現役では7人目となるJRA通算700勝(延べ6574頭目)を達成しました。

●ジャパンジョッキーズカップ2019にJRAから4騎手が参加

7月15日(祝・月)、盛岡競馬場で行われる「ジャパンジョッキーズカップ2019(騎手招待レース)」に、JRAからは戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)、三浦皇成騎手(美浦・鹿戸雄一厩舎)、川田将雅騎手(栗東・フリー)、武豊騎手(栗東・フリー)の4名が参加することとなりました。このレースは、JRA所属騎手4名、地方競馬所属騎手・東日本地区4名、同・西日本地区4名の3チームによる対抗戦で行われます。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●D.レーン騎手騎乗のオメガパフュームが帝王賞(大井)制覇

帝王賞(Jpn I、6月26日、大井、2000米)は、後ろから2頭目という位置から追い上げた3番人気のオメガパフューム(ダミアン・レーン騎手=オーストラリア、牡4歳、父スウェプトオーバーボード)が残り100米で差し切りました。2番人気のチュウワウウィザードが1馬身 $\frac{1}{4}$ 差の2着に入り、ミツバは4着、2番手からの競馬となった1番人気のインティは6着、オールブラッシュは9着、アポロケンタッキーは13着に敗れています。

●吉村智洋騎手(兵庫)が地方競馬ジョッキーズCSに優勝

6月2日の盛岡、6月20日の園田で計4戦のポイント制で争われた2019地方競馬ジョッキーズチャンピオンシップは、吉村智洋騎手(兵庫)が総合優勝を果たし、2019ワールドオールスタージョッキーズの地方競馬代表候補騎手となりました。

●栄冠賞(門別)はバブルガムダンサー【各地の主要2歳重賞】

栄冠賞(6月27日、門別、1200米)は、2番手を追走した5番人気のバブルガムダンサー(牝、父パイロ)がゴール前で抜け出し、今年の2歳重賞勝ち馬第1号となっています。

●ゴールドクイーンらが出走、7月4日のスパーキングレディーC

スパーキングレディーC(Jpn III、7月4日、川崎、1600米)は、初距離が鍵もゴールドクイーンが中心、以下ファッションスタ、マドラスチェック、サルサディオオーネ、ラーゴブルー(川崎)、ミッシングリンク(浦和)までが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●ロイヤルアスコット開催～ブルーポイントがG1・2勝

5日間で8つのG1を含む計19の重賞を施行するロイヤルアスコット開催がイギリス王室がロンドン郊外に所有するアスコット競馬場で6月18日～22日まで行われました。先週の当欄でもお伝えした通り、今年日本のディアドラ(牝5歳、栗東・橋田満厩舎)が武豊騎手を背に2日目(19日)のG1プリンスオブウェルズS(4歳上、芝1990米)に出走しましたが、クリスタルオーシャン(牡5歳、父シーザスターズ、M.スタウト厩舎)の6着に終わりました。そのほかのレースを振り返ると、初日(18日)のG1キングズスタンドS(3歳上、芝1000米)に優勝した後、中3日で最終日(22日)のG1ダイヤモンドジュビリーS(4歳上、芝1200米)に出走してこれも見事に制したブルーポイント(牡5歳、父シャーマーダル、C.アップルビー厩舎)の走りが印象的。この2レースの連勝は2003年のショワジュール(オーストラリア調教馬)以来、16年ぶりの快挙でした。また、3日目のG1ゴールドC(4歳上、芝3990米)ではストラディヴァリウス(牡5歳、父シーザスターズ、J.ゴスデン厩舎)が昨年5月から続く連勝を7に伸ばすとともに、このレースの連覇を達成。鞍上のL.デットーリ騎手はこの日、第1レースから第4レースのゴールドCまで4連勝の大活躍でした。